

平成 28 年 2 月 9 日

水戸市長 高橋 靖 様

水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議  
座長 佐川 泰弘

## 水戸市人口ビジョン及び水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（意見）

水戸市人口ビジョン及び水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たりましては、当会議において、慎重に審議いたしました。

人口ビジョンに基づき策定する総合戦略の実施・推進において、下記事項に十分配慮されるよう要望いたします。

### 記

- 1 他市町村との差別化が図れるよう、水戸市の個性を明確に打ち出し、魅力・特色あるまちづくりを推進するとともに、その魅力を積極的かつ効果的に発信すること。
- 2 他方で広域連携なしに地域全体の活性化は図れない。幅広い分野において、広域的な連携の強化も図りつつ、県都水戸としての都市力を高めながら、存在感を示していくこと。
- 3 総合戦略の推進を含め、市政全体をけん引し、進展させていく中心となるのは「ひと」であることから、水戸の未来をリードする人づくりに積極的に取り組むとともに、「ひと」を大切にし合える、多様性を認め合える環境づくりに努めること。
- 4 総合戦略を打ち出すに当たっては、市民に水戸市の目指す方向や本気度を十分浸透させることが極めて重要である。効果的な手法による周知を行うとともに、学校等とも連携しながら、次の若い世代である子どもから高齢者まで幅広い市民の参加・参画意欲の醸成に努めること。
- 5 目指す姿「若い世代が生き生きと暮らせる 持続的に成長するまち 水戸」の実現に向け、核となる若い世代へ効果的な周知を行うことはもとより、若い世代の意見を尊重しながら総合戦略の推進が図れるよう、参加・参画しやすい環境づくりに取り組むこと。特に、庁内でそれを率先すること。
- 6 まちの強みはさらに伸ばし、まちの弱みも強みに変えるような柔軟な発想を持ちながら、施策の優先順位を十分見極め、あらゆる分野において市民と行政とが協働して取り組むこと。
- 7 進行管理については、庁内における検証を実施することはもとより、市民意向を反映しながら、様々な視点からの評価、計画の見直しが行えるような仕組みづくりに努め、実効性のあるPDCAサイクル（計画 - 実行 - 評価 - 見直し）により行うこと。年度ごとの計画とそれに即した進行状況を当会議及び市民に示すこと。